

「天神講祈願祭」を開催します

今年も天神講の季節が始まります

燕市内の菓子組合のご協力により、伝統ある「越後つばめ天神講菓子展」を開催できることになりました。

開催に先立ち、「天神講祈願祭」として、お菓子の購入者の学力向上と伝統行事の伝承を目的に、木型のお祓いを執り行います。

【天神講祈願祭】

1.日 時：1月25日（水） 午前11時～

2.会 場：戸隠神社境内 天満宮前（燕市宮町 4445）

3.内 容：

●和菓子の木型のお祓い

和菓子の木型を作る職人は、日本に数人しか残っていないと言われ、木型はとても貴重なものです。その木型を、天神講の本格的なスタートの前に天満宮前で祓い清めます。

4.主 催：「越後燕の伝統を守り伝える会」（代表：星野和彦）

5.天神講とは？

●天神講は学問の神様である菅原道真公を命日である2月25日におしのびする、昔から伝わる風習です。

●天神講の風習は、新潟県内はもちろん、全国各地で伝えられていますが、燕の天神講の一番の特徴は、天神様にお供えする色鮮やかなお菓子にあります。天神様の形をしたものはもちろん、梅や海老、猫やだるま、恵比寿に大黒天に松竹梅など、お店により工夫がなされたいろいろな種類のお菓子があります。今ではなかなか口にすることができない、粉菓子や金花糖といった種類のお菓子を買えるのもこの時期だけとなり、特に年配の方々は昔を懐かしんで、お菓子をお求めになられます。

6.その他

「越後つばめ天神講菓子展」の詳細については、1月31日（火）10時から行われる市長の定例記者会見でお知らせします。



本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：長井
電 話：0256-77-8233（直通）